

中小企業新事業進出補助金 計画書の作成例

④新規事業の必要性

上記①～③の現状分析を踏まえて、なぜ自社が新規事業を実施する必要性があるのか記載してください。 (400文字以内)

①トレンドの変化による集客困難

「ホームページ」の役割が、「集客」から「基本情報の掲載」と変化し、集客チャネルはSNSなどに移行している。そのため今後、「ウェブ制作」を新規に受注していく可能性も、総低単価も、どんどん低くなっている。

②顧客層の事業環境悪化による集客困難

従来、弊社が強みのあった顧客は、飲食店や美容院・エステなどの店舗。ただ、コロナ禍以降、ホットペッパー・ホットペッパービューティーなどのポータルサイトからの集客依存を強めており、「良いホームページを作りたい」と考える店舗は減っている。「ホームページ制作」の新規集客は困難を極める。

◆市場環境が大幅に悪化

このように、弊社の現事業は、トレンド及び顧客の状況という2つの集客困難に直面している。強み・機会を新事業に転用し、新事業の収益化を図る以外、生き残る道はない。

計画書作成例のポイント

基本的に、400字以内の場合には、電子申請画面に貼った際に、
文字数オーバーにならないように、350字程度で作成するようにしております。
本補助金の計画書は、字数制限が厳しいこと、項目数が多いことから、
分かりやすい文章作成を、とにかく丁寧に積み重ねていくしかありません。